

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 179 8月号

2020年8月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館



読書と私 No.169

「本が与える可能性」

龍野町 塚原 舞

私は、本を読むことが好きで様々なジャンルの本をよく読みます。しかし、幼いころからバレーボールに必死だったので、本を読むことにも勉強することにも苦手意識がありました。

高校生になり、国語の授業で芥川龍之介の「羅生門」という作品に出会いました。この作品には衝撃を受けました。先生の解説とともに頭の中で想像する楽しさ、理解できた喜び、作品が自分のもののように感じさせてくれる魔法に私は虜になりました。それからは国語以外にも勉強が好きになり、あっという間に成績は伸びていきました。本は新しい自分に出会わせるものであると後になって気付きました。

大学受験勉強の際には龍野図書館の学びのスペースを利用しました。今でも図書館に行くたびに受験の辛かった思い出や、勉強の楽しさや、司書の皆さんからの応援を思い出します。分からないことがあれば、図書館の本で調べることができるので、勉強に適した環境だと思います。

本が与える可能性はまだ終わりませんでした。大学入学後、初めてシェイクスピアの作品を本格的に授業の中で学び、作品をいくつか読みました。そして作品を比較するなど、新しい楽しみを見つけました。また、外国に興味を持つようになり、今は図書館の資料を使いながら、人種差別や、発展途上国の教育について学んでいます。

数年前の自分からすると予想もつかない変化だと思っています。それほど本が与える影響力と可能性は大きいものだと経験の中で感じました。さて、今日も新しい発見を探しに行ってきます。

(塚原さんはたつの市親善大使の「2020プリンセスたつの」として活動されています。)

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『天変地異はどう語られてきたか 中国・日本・朝鮮・東南アジア』

串田 久治 編・著 東方書店 280ページ 2020年2月刊



どれほど科学技術が発達した現代においても、人類にとって災禍は不可避なものである。では、地震や台風、集中豪雨や河川氾濫などの自然災害、疫病の発生といった想定外の危機に対して、これまで人類はどのように向き合ってきたのか。

本書は、アジア諸国で語り継がれ、古文書に記録されてきた天変地異の言説や逸話を通して、先人たちがいかにして天変地異を受容してきたのかを考察する学術書である。

天変地異とは、古代中国の言葉で、天が人間界に下した災いという意味であり、天罰や祟り、失政の結果と結びつけられてきた。一方で、豊作や社会変革などの恩恵や幸福をもたらすものでもあった。その観点から、本書の論考は天変地異の「禍」の面だけでなく、「福」の面と表裏一体的に捉えるべきだという論点から展開されている。

例えば、「『日本』の誕生と疫病の発生」では、奈良時代の律令制度と疫病の関係について論じている。当時の疫病とは、天然痘である。大陸との外交によって病原体が流入し、法体系で都市インフラや交通網が整備されつつあった国内の感染拡大を招き、おびただしい犠牲者を出した。疫病の流行は東大寺大仏建立や追儺開始のきっかけにもなり、人々の国家観や宗教観を変容させた。これにより排外意識とナショナリズムが醸成され、日本という国家の形成に至ったと結論づけられている。

今年、新型コロナウイルスの脅威は世界を一変させた。天変地異の禍福の両義性について、歴史の教訓や先人の知恵から学ぶべきことは決して少なくない。本書は単なる歴史研究にとどまらず、そうした視座からも極めて示唆に富んでいるといえる。

(揖保川図書館 楠田)

※申込、問い合わせは各図書館まで

トピックス

『夏のブックリスト』をご活用ください。

毎夏、市内の各園・小・中学校で子どもたちにブックリストを配布しています。4・5歳向き、小学校低学年向き、高学年向き、中学生向きにそれぞれおすすめの本を紹介しています。市内4館ではそれらブックリストに掲載されている本を用意していますので、ぜひ借りに来てください。

楽しい本がたくさん
載ってるよ!



『時計づくりのジョニー』

エドワード・アーディゾーニ 作 あべ きみこ 訳 こぐま社



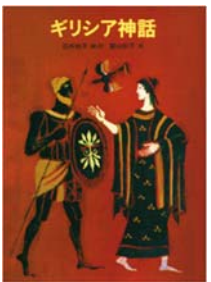
手先が大変器用なジョニーは、ある日お気に入りの本『大時計のつくりかた』を見て「ぼくも大時計を作ろう」と思い立ちます。ところが両親や先生はできるはずがないと相手にしてくれません。学校の子どもたちもジョニーをからかいますが、スザンナだけは「大時計ぜったいできるわよ」と励ましてくれました。

ジョニーはまず、木を丁寧に計り、のこぎりで切り、釘で打ちつけ、立派な箱を完成させました。次に白いボール紙を切って文字盤を作り、^{すず}錫はくから長針と短針を切り抜きました。ところが歯車や振り子、鎖など金属部分は手に入りません。困っていると鍛冶屋のジョーさんが「おまえさんが

ふいごを動かして、火をかんかんにおこしてくれたら作ってやるよ」と言ってくれ、振り子や歯車や鎖を用意してくれました。ジョニーは大喜びでそれらを持ち帰り、大時計を完成させます。振り子の位置を上下させることで正確な時を刻ませることもできました。やがてジョニーが本物の大時計を作り上げたことが知れ渡るにつれ、一目置かれるようになり、みんなはジョニーのことを「時計づくりのジョニー」と呼ぶようになりました。

懸命に時計を作るジョニーの姿が柔らかな水彩画で描かれており、完成した時計が刻むチクタクという音をジョニーが寝床で聞くと、読み手にも嬉しい気持ちが広がります。読んであげるなら6歳くらいから。
(新宮図書館 勝谷)

『ギリシア神話』 石井 桃子 編・訳 のら書店



大むかし、「黄金時代」の人々は、みんな心が正しく幸福で、病気ということを知りませんでした。ある日、巨人族のエピメテウスのもとへ、神々のお使いが美しい少女を贈り物として連れてやってきます。その少女の名前はパンドラといました。

またある日のこと、神々から贈り物として重い箱が運ばれてきました。運んできた者たちは、「この箱をけっしてあけないように」という神々の言葉を伝えましたが、人一倍知りたがりやのパンドラは、我慢できず、その箱を開けてしまいます。すると、小さな翼をもった生き物の群れが飛び出して、パンドラをチクチクと刺しました。それは、今までこの世になかった「苦しみ」でした。

それからというもの人間は病気にかかるようになり、その上、歳をとるようになりま

した。世界がすっかりみじめに変わり果て、エピメテウスとパンドラが泣いていると、箱の中から、「あけてください、パンドラさん」と声がしました。パンドラが勇気を出して箱を開けると、そこには「希望」という名の、親切で小さな女神がいました。「希望」は世界中を飛び回り、「苦しみ」がまいた、あらゆる不幸を消してくれたのです。この世に今までなかった「苦しみ」は、「希望」と一緒にやってきたのでした。（「パンドラ」）

他に、神の試練に立ち向かう勇士ヘラクレスの冒険を描いた「ヘラクレスの十二のぼうけん」や、ギリシア軍とトロイア軍の戦いを描いた「トロイア戦争」など、伸びやかで感情豊かな神々のお話が23編収められています。小学校高学年くらいから。

(龍野図書館 村上)

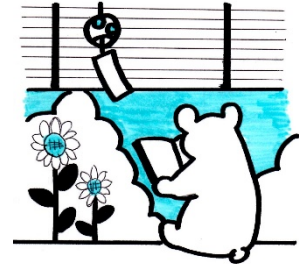


8月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

<p>龍野図書館</p> <p>14日(金) 10時～11時30分 『幼年時代』 室生 犀星 著</p>	<p>揖保川図書館</p> <p>7日(金) 10時～12時 『お夏清十郎』 平岩 弓枝 著</p>	<p>御津図書館</p> <p>19日(水) 13時30分～15時30分 『あかね空』 山本 一力 著</p>
---	---	--



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

続・私の一冊

先月は古今東西の様々な名作を展示しましたが、今月はあなたの「私の一冊」を紹介してみませんか？皆さんが書かれた「私の一冊」一言コメントカードを掲示し、ご用意できる本と一緒に展示します。

- ・『ドリトル先生航海記』
- ・『スプートニクの恋人』
- ・『ナイン・ストーリーズ』など

【期間】8月30日まで

新宮図書館

本の海で溺れないために

本がたくさんありすぎて、何を読めばいいかわからない…。そんな時はまずその著者の代表作や古典はいかがでしょう。読みやすい新訳も多数用意しました。偶然手に取った一冊が、あなたの読書の世界を広げるかもしれません。

- ・藤沢 周平 『蝉しくれ』
- ・ドストエフスキー 『カラマーゾフの兄弟』
- ・福岡 伸一 『動的平衡』など

【期間】8月30日まで

揖保川図書館

数学はおもしろい

確率、統計、円周率、黄金比など難しいイメージのある数学。実は日常生活の身近なところにその公式や法則が使われています。学生時代、数学が苦手だった方も数の魅力に触れてみませんか？

- ・『日常にひそむうつくしい数学』
- ・『快感数学ドリル』
- ・『身近なアレを数学で説明してみる』など

【期間】8月30日まで

御津図書館

なぜ？の世界

昔から思っていた不思議なこと、言われてみれば不思議なこと。そんな、思わず首を傾げてしまうような、なぜ？にまつわる様々な本を紹介しています。是非、なぜ？の世界に浸ってみませんか。

- ・『切り身なのになぜ刺身？』
- ・『宇宙はなぜこんなにうまくできているのか』
- ・『「朝ドラ」を観なくなった人は、なぜ認知症になりやすいのか？』など

【期間】8月30日まで